

香西理子先生を囲む会の歩み



2002
退官記念



-2009
演奏会



2012
喜寿お祝い演奏会



2013
例会



2014
例会



2015
例会



2016
傘寿お祝い演奏会

例会



2017
例会



2018
演奏会



2020
例会



2021
ミニコンサート



香西理子先生プロフィール

1935年東京生まれ。4才よりヴァイオリンを小野アンナ女史に師事。1948年第2回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第2位。1950年第19回日本音楽コンクール第1位。

1951年初リサイタル開催。以降N響とチャイコフスキ、東響とベートーヴェンやシベリウスの協奏曲を協演。桐朋学園音楽部門第1期生。

1955年フルプライド交換留学生として渡米。ミシシッピ大助手を経てジュリアード音楽院にてイヴァン・ガラミアン氏に師事。室内楽をジュリアードカルテットのクラウス・アダム氏他に学ぶ。留学中バークシャ音楽祭のスカラシップを得、ボストン響のオイゲンレーナー氏やシャルルミュンシュ氏の薫陶を受ける。

1959年京都に移りリサイタル、コンチェルト、室内楽で精力的に活動する一方、京都市立芸術大学、相愛大学、京都市立堀川高校音楽科、同志社女子大学、くらしき作陽大学にて指導にあたる。1999年、第18回藤堂音楽賞、2014年、平成25年度京都市芸術振興賞受賞。

現在、くらしき作陽大学名誉教授。

